

仕様変更のご案内

SE2L 形セーフティレーザスキャナ

SE2L 形セーフティレーザスキャナの仕様変更についてご案内いたします。

実施時期

2019年3月出荷分より順次実施

※ 実施時期前であっても、受注状況に応じて、変更品を出荷させていただく場合があります。

対象製品

SE2L 形セーフティレーザスキャナ 全2機種

品名	接続方式	形番
SE2L 形 セーフティレーザスキャナ	ケーブルタイプ	SE2L-H05LP
	コネクタタイプ	SE2L-H05LPC



- ・形番、価格、検出仕様の変更はありません。
- ・設定ソフトウェア「SLS Project Designer」は、SE2L 形本体に付属しています。

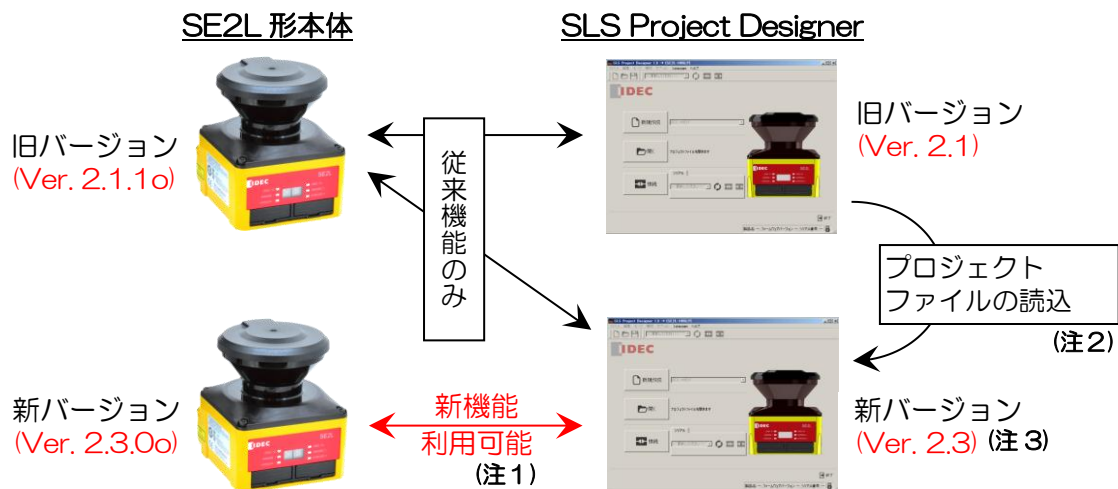
変更内容

SE2L 形本体ファームウェアのバージョンアップにより、機能アップを行います。それに伴い、設定ソフトウェア「SLS Project Designer」もバージョンアップします。変更内容は下記のとおりです。

- ① 通信コマンド AR06/AR07/AR08 追加**
通信コマンド AR06/AR07/AR08 により角度分解能 0.125° の距離データも読み出せるようにコマンドを追加しました。(従来は 0.25° の距離データのみ対応) ただし、強度データは読み出すことはできません。
- ② エンコーダパターン追加**
入力 E を使用することで、エンコーダパターンをこれまでの 4 パターンから、8 パターンまで設定可能にします。
- ③ Configuration ID 機能追加**
設定ソフト「SLS Project Designer」にて、レポート画面とレポート PDF からセンサ設定の ID を確認できるようにします。設定が変更された場合には ID が変わりますので管理用として利用できます。
- ④ レポート PDF のエリア自動スケーリング**
設定ソフト「SLS Project Designer」にて、レポート PDF に表示されるエリア表示が最適な大きさと表示されるようにします。
- ⑤ イベント録画機能**
設定ソフト「SLS Project Designer」にて、OSSD 出力の OFF をトリガーに前後 1~15 秒の測定データを記録する機能を追加します。
- ⑥ エラーログの時刻表示**
設定ソフト「SLS Project Designer」にて、センサ起動後のエラーログについては発生時刻も表示するように変更します。
- ⑦ 検出ログのマッピング表示**
設定ソフト「SLS Project Designer」にて、検出ログ画面に数値情報だけでなく、マッピング表示も追加して視覚的にわかりやすくします。
- ⑧ 検出レポート出力コマンドの分割**
通信コマンド DL00 のデータを 2 分割して送信できるように通信コマンド DL01/DL02 を追加します。
- ⑨ エリア数値入力欄のコピー&ペースト対応**
設定ソフト「SLS Project Designer」にて、エリア設定画面の数値入力欄にテキストファイルで作成した配列をコピー&ペーストできるようにします。

※詳細は新バージョンのマニュアル (B-1866(5) : SE2L 形本体に付属) をご覧ください。

新旧バージョンの組み合わせ



注1：新機能の利用は、新バージョンのSE2L形本体と新バージョンの「SLS Project Designer」を組合せて使用した場合のみとなります。

注2：旧バージョン（Ver.1.3、Ver.2.0、Ver.2.1）の「SLS Project Designer」で作成したプロジェクトファイルは、新バージョンの「SLS Project Designer」で、変更や新機能の設定が行えます。

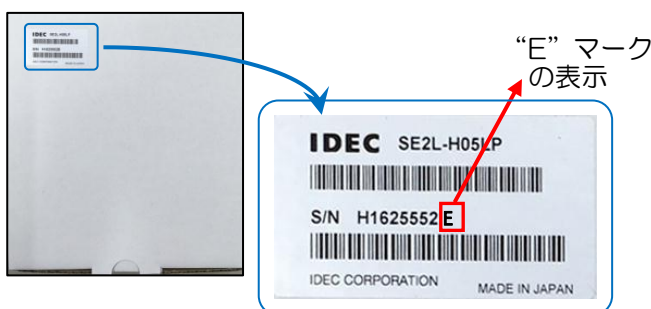
注3：新バージョンの「SLS Project Designer」でプロジェクトファイルおよびSDカードファイルを作成する場合は、書き込み対象となるSE2L形本体のファームウェアバージョンを正しく選択してください。

※旧バージョンのSE2L形本体にバージョン選択を誤ったSDカードファイルを書き込んだ場合、書き込みができない、または、予期しない動作をするおそれがあります。事前の動作確認を十分に行ってください。

識別表示

変更後は製品のシリアル番号の末尾を“E”に変更します。シリアル番号は個装ケース、製品ラベルの両方に表示します。また、「SLS Project Designer」は、CDラベルに「Version.2.3」を表示します。

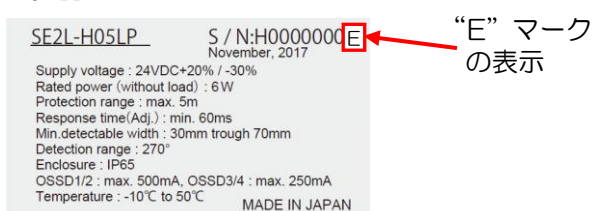
<個装ケース>



<CDラベル>



<製品ラベル>



以上